

亘 都 発 第 5,175 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

亘理町長 齋 藤 邦 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮城県亘理町

最近の都市計画道路事業は国からの補助制度が打ち切れ、町づくり交付金事業の中で、区画整理事業や市街地再開発事業として取り込まれない限り、国からの補助が受けられない状況となっており、地域住民が必要としているにもかかわらず、膨大な事業費を考慮すると町財政に大きな負担となることから、要望に応えられない状況が続いております。ぜひ、都市計画道路事業単独での採択を受けられるよう要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

宮城県亘理町

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

本町の主要道路は、国道6号をはじめ、主要地方道4路線、一般県道3路線から構成されており、本町の産業、通勤・通学の交通の要として重要な役割を果たしており、平成7年7月に亘理村田線の槻木大橋の完成や、平成12年には相馬亘理線の改良事業が完成し、広域的な利便性が確実に向上しております。

しかしながら、国道6号は片側1車線で、朝夕には国道4号との交差点から数キロの慢性的な渋滞を招いており、さらには主要な町道との交差点では右折レーンがなく、交通安全上からも危険な状況となっております。

○課題

国道6号の右折レーン設置の改良について、3交差点で計画を立てましたが、国、県からの補助もなく、財政的にも厳しい状況下で実現出来ないでおります。